４　工夫と連携で
産業が躍動するまち

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業委員会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　農業委員会	局長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業委員会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農業委員、農業者	農地法に基づく許可申請、届出書等の審査及び農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。又、農業者年金事業を通じて老後生活の安定等を図り、農業の担い手の確保に繋げます。

事業の実施内容

	予　算　額	決　算　額
・　農業委員報酬	4,521千円	4,323千円
・　農地利用最適化推進委員報酬	2,028千円	1,938千円
・　会計年度任用職員報酬/期末手当	1,934千円	1,933千円
・　旅費（費用弁償）	512千円	280千円
・　その他（消耗品費等）	155千円	151千円
・　委託料	654千円	654千円
・　負担金、補助及び交付金	81千円	81千円
合　計	9,885千円	9,360千円

○農地法に基づく「許可申請」及び「届出」の状況
・3条申請（14件）　・4条申請（1件）　・5条申請（25件）
・3条届出（1件）　・4条届出（12件）　・5条届出（25件）

▲　農業委員会総会

▲　現場確認・農地パトロール

事業の成果

・農地の耕作放棄地解消取組において研修等を実施し、遊休農地取組の促進強化と解消の推進を図りました。
・農業者の老後生活の安定、福祉向上のために農業者年金の加入促進に関する研修や戸別訪問、広報活動を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,885	9,360		1,697		367	7,296

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地力増強対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	土づくり用堆肥の購入費補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くします。

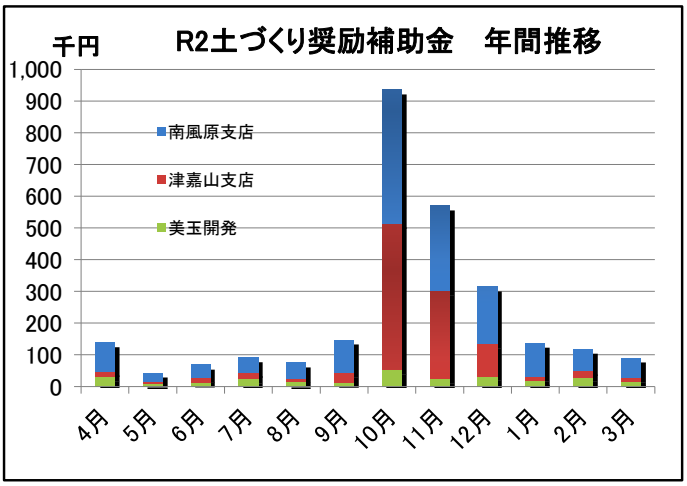
事業の実施内容

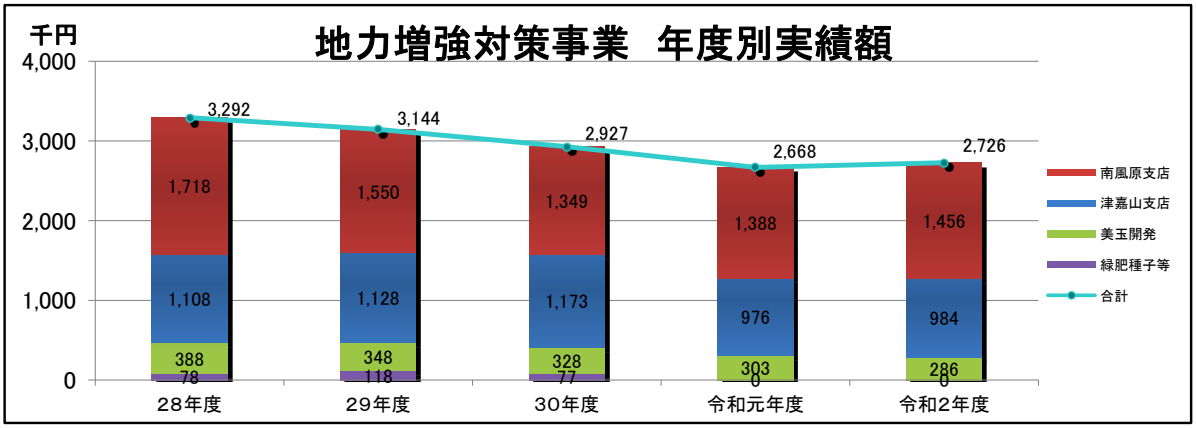
○地力増強対策事業　　予算額　3，000千円　　決算額　2，726千円

補助基準
・堆肥購入一袋（15kg）に対し50円の補助

☆土づくり奨励補助金
決算額　　2，726千円

（内訳）
54，526袋×50円＝2，726，300円





事業の成果

農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、堆肥の購入補助は農家の負担を軽減し、圃場の地力増強も図られ、秀品率の向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,000	2,726					2,726

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	多面的機能支払交付金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農地費	05

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
宮城地域資源保全の会 山川地域資源保全の会 神里地域資源保全の会	地域共同で行う農地等の維持管理に補助を行い地域活性化を図る。（多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金）

事業の実施内容

・多面的機能支払交付金（事業期間：平成29年度～令和3年度）補助事業
総事業費　：６，８８５千円

◆令和2年度　　予算額：１，２５５千円　　決算額：１，２５４千円

需　用　費	80千円	80千円	宮城：388千円
使用料及び賃借料	85千円	84千円	山川：378千円
負担金、補助金及び交付金	１，０９０千円	１，０９０千円	神里：324千円

ため池清掃（山川地区）

水路草刈り（神里地区）

事業の成果

水路や農道の補修及び草刈り、清掃等を行い、農地等の維持管理が出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,255	1,254		897			357

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住宅リフォーム支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
住宅リフォームを行う町民（自己所有住宅を町内の施工業者を利用してリフォームした場合）	町民の住宅の質の向上を図るため、住宅リフォーム（対象：省エネ、耐久性向上、ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ改修工事）を行う町民の負担軽減を図ります。

事業の実施内容

住宅リフォーム支援事業補助金　【 予算額　1，452千円　　決算額　1，452千円 】

・工事費補助金 予算額　　1，448円　　決算額　　1，448千円

（主な内訳）

工　種	件数	金額（千円）	
省エネ改修工事　（屋根・天井・壁等断熱工事）	7	1,233	
住宅の耐久性改修工事　（柱・はり等主要構造部の剥離したコンクリートの除去及び改修等）	(3)	0	※省エネ改修と同時施工
バリアフリー改修工事　（通路側の拡幅・段差の解消等）	3	215	
合　計	10	1,448	

・通信運搬費　予算額　　4千円　　決算額　　4千円

【リフォーム例】

バリアフリー改修工事（トイレ改修）　施工前

バリアフリー改修工事（トイレ改修）　施工後

省エネ改修工事（屋根断熱）　施工前

省エネ工事（屋根断熱）　施工後

事業の成果

住宅リフォームを行う町民に補助金を交付することにより、工事費の経済的負担を軽減し、町民の住宅の質の向上に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,452	1,452	651	398			403

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商工会の育成強化			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域商工業、中小企業・小規模企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、それにより地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。

事業の実施内容

○南風原町商工会補助金　　予算額　6,804千円　　決算額　6,804千円

○事業実績

◆経営改善普及事業

①経営指導員による指導件数

巡回指導	336件	窓口指導	1,306件	創業指導	36件

②講習会等の開催

	経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働
集 団	1回	1回	－	－	2回	4回
個 別	－	1回	－	－	21回	－

③金融の斡旋

融　資　種　類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額	貸付総額
沖縄振興開発金融公庫	8件	8件	55,600千円	48,100千円
県融資制度	1件	1件	2,400千円	2,400千円
セーフティーネット資金	62件	金融機関	967,800千円	金融機関

④事務の代行

	委託事業所数	従業員数
労働保険等	66事業所	246人

⑤記帳継続指導

	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数
記帳専任	1人	227日	135日	94	15

※うち機械化数はネットde記帳利用者数

⑥各種共済加入状況

	加入者数	加入口数
小規模企業共済	102人	－
中小企業ｾｰﾌﾃｨｰ共済	53人	－
中小企業退職金共済	138人	－
商工貯蓄共済	－	142口
商工会福祉共済	－	37口

⑦講習会、相談会の開催

開　催　回　数	10回
参加事業所(延べ)	184

◆地域総合振興事業

・要請活動、視察研修、地域活性化資金造成

事業の成果

南風原町商工会に補助金を交付し、指導・協力体制の強化を図るとともに、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に貢献することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,804	6,804					6,804

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商品開発・技術力強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域資源の活用や異業種連携による商品開発、ブランド化を図り、販路開拓を行います。

事業の実施内容

■事業概要
「南風原町の地域ブランド」及び「特産品の認証制度」について話し合い協議を行う組織を形成し、それを元に推薦される特産品やご当地グルメをPRすることで、地域の魅力を広く認知させます。また、地域資源の活用や異業種間連携等による商品開発および企業との連携によって消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい特産品や、多くの人々に愛されるご当地グルメの開発を行い、産業展開することを目的としています。

■町独自の商品開発・技術力強化事業の実施状況
本年度は食品部門、モノづくり部門それぞれで町内事業者を対象に講習会を開催し、商品開発を行う際の考え方や、流通の仕組み、マーケティング等に関する知識習得を図りました。その結果、地域ブランド認定商品選定委員会において優れた特産品の証である「はえばる良品」として、2品の認定が行われました。

・南風原町地域連携強化事業として、異業種交流を主題として商品開発事業を行いました。
・南風原町地域ブランド認証事業にて「はえばる良品」2品を認定。
・販路拡大、マーケティング事業として県内外4回の出展を実施。
・はえばる良品公式ホームページ、公式SNSの運用。
・はえばる良品ロゴマークのリニューアル。

～　令和2年度「はえばる良品」新規認定商品　～

美ら卵養鶏場　南風原カボチャチーズケーキ

福まる農場　沖縄キビまる豚ローストポーク

○南風原町地域ブランド推進委員会（委員7名）
・第1回会議：委員長任命式、平成31年度事業報告、はえばる良品の運用と課題について 等
・第2回会議：活動報告、「はえばる良品」のロゴについて、「はえばる良品」の募集について 等
・第3回会議：「はえばる良品」のロゴ決定について、当選者について、商標登録について 等
・第4回会議：事業報告について、令和3年度アクションプランについて 等

次ページへつづく →

事業の実施内容

○商品開発ワークショップ
　食品分野、非食品分野という分類分けを行わず、個別相談を多く行い、認定商品を中心に課題やその対策を検討した。販路開拓セミナー後に、新商品開発を行うために必要なブランディング、マーケティングに関するワークショップを行った。全15回開催。

○販路開拓セミナー
　県外のバイヤー、専門家等を招聘し、消費者心理と購買行動についてや、SNSを活用したマーケティングや商品開発などについての講義を行った。新型コロナウイルス感染防止対策のため、オンライン参加への変更や参加人数の制限、入室時の検温やマスク着用の徹底、体調や渡航歴のチェック等を行った。

○出展実績　　県内催事全5回出展。
・8/28　：　第23回商工会特産品コンテスト　　参加事業者：1
・10/24　：　第23回商工会特産品フェア「ありんくりん市」　参加事業者：2
　※新型コロナウイルス感染症対策として、規模縮小し抽選での出展となりましたが抽選に漏れたためオンライン出展となりました。
・11/21　：　沖縄の元気マルシェ　　参加事業者：3
・11/24　：　樂園百貨店　　参加事業者：1
・3/ 8　：　ルンルン！はえばるフェスタ　　参加事業者：2

○その他
　本町は、名古屋グランパスのキャンプ地であることからコラボ商品開発を行いましたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響で令和2年度はキャンプが非公開となり、当初予定していたキャンプ地でのコラボグッズ販売が中止となりました。しかし、名古屋グランパスのECサイトやファンショップで数量限定販売を行いました。

沖縄子育て良品
紅型お守り

瑞泉酒造
リキュールセット

美ら玉養鶏場
サーターアンダギー

事業の成果

　本年度は町内事業者を対象に講習会（商品開発ワークショップ）を開催し、商品開発を行う際の考え方や、流通の仕組み、品質管理等に関する知識習得を図りました。また地域ブランド認定商品選定委員会において、2品を優れた特産品の証である「はえばる良品」として認定を行いました。
　商品開発セミナーにおいては、消費者心理や購買行動についての講義やSNSを利用したマーケティング、商品開発について講義を行い、実際にSNSを利用したコラボ商品開発に繋がることができました。
　販路開拓セミナーや出展については、新型コロナウイルス感染症の影響により規模縮小しての開催などの影響を受けましたが、オンライン開催や感染症対策の徹底により対応することができました。
　ブランドのPRについては、今までのロゴマークの刷新を図り、町民の投票により決定したことで、町民に親しんでもらえるとともに認知度を向上することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,993	14,047		11,237			2,810

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域消費促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内事業所への支援策として町民に対しプレミアム付商品券を発行、販売する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、自粛により長期間休業をよぎなくされた事業所及び減収となった事業所を支援するため、プレミアム付商品券を発行し、地域消費促進を図ります。

事業の実施内容

○プレミアム付商品券（第1弾）

・1世帯に1冊（額面5,000円の商品券を3,000円で販売）

販売期間　：　1次販売（令和2年8月1日～令和2年8月31日）
　　2次販売（令和2年9月1日～売り切れるまで）
利用期間　：　令和2年8月1日～令和2年10月31日
販売実績　：　16,000冊×（500円券×10枚）＝80,000,000円
利用実績　：　158,846枚×500円＝79,423,000円

消耗品費	予算額	150	千円	決算額	134 千円
通信運搬費（購入券はがき）	予算額	972	千円	決算額	969 千円
委託料（はがき印刷）	予算額	435	千円	決算額	430 千円
商品券事業補助金	予算額	43,231	千円	決算額	43,230 千円

○プレミアム付商品券（第2弾）

・町民1人に1冊（額面5,000円の商品券を3,000円で販売）

販売期間　：　1次販売（令和2年10月1日～令和2年10月31日）
　　2次販売（令和2年11月1日～売り切れるまで）
利用期間　：　令和2年10月1日～令和3年3月6日
販売実績　：　40,259冊×（500円券×10枚）＝201,295,000円
利用実績　：　399,181枚×500円＝199,590,500円

消耗品費	予算額	114	千円	決算額	109 千円
通信運搬費（購入券はがき）	予算額	894	千円	決算額	893 千円
委託料（はがき印刷）	予算額	435	千円	決算額	431 千円
商品券事業補助金	予算額	91,769	千円	決算額	90,111 千円

事業の成果

プレミアム付商品券を発行・販売したことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、長期間休業をよぎなくされた事業所及び減収となった事業所を支援することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	138,000	136,307	135,721				586

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域産業支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収となった町内事業者	新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け減収となった町内事業所の継続意欲を維持するための支援が必要であることから、給付金を支給することで事業所の継続を応援します。

事業の実施内容

○地域産業支援金

① 負担金、補助及び交付金　予算額　47,300千円　決算額　47,300千円

② 通信運搬費　予算額　50千円　決算額　50千円

○事業概要

① 対 象 者：　令和2年4月1日現在、本町に事業所を有し、今後も事業継続する予定の中小企業及び個人事業主であり、新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が昨年比25％以上減少した者。

② 実施期間：　令和2年8月3日から令和2年12月24日まで

③ 支 給 額：　1事業所あたり10万円

○事業実績

受付件数	488 件
決定件数	473 件
不交付件数	12 件
取下げ件数	3 件

事業の成果

令和2年8月から令和2年12月までの5ヶ月間で488件の申請があり、473件について支援金を交付し、町内事業者を支援することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	47,350	47,350	47,146				204

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	観光振興を効率的に進めるために、観光協会の機能を強化していきます。さらには市町村の枠組みを越えた広域観光を志向していきます。

事業の実施内容

○観光振興に必要な通信費や消耗品　　予算額　　8 千円　　決算額　　2 千円
・主な用途
　はえるんの管理用品、イベント等の消耗品等

○シマじまガイド事業　　予算額 10,516 千円　　決算額　8,492 千円
　着地型観光メニューとして「シマじまガイド（町内名所巡り）」を実施、本町の観光まちづくりを推進する観光協会に委託しています。
　「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、まち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していきます。

○陸軍病院壕公開活用事業　　予算額　2,994 千円　　決算額　1,412 千円
　県内外から訪れる多くの人々に平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行い、観光協会に壕のガイドの委託を行っています。

○南風原町観光協会補助金　　予算額 12,392 千円　　決算額 12,392 千円
　本町の観光まちづくりや観光振興を推進するため、一般社団法人南風原町観光協会が実施する事業に要する経費を補助金として交付、観光施設の運営や観光宣伝、カンナの花をはじめとする花いっぱい運動、夏まつりキッズパーク、綱曳ツアーなど多彩な活動を行っています。
　町観光協会は、自然や歴史、文化遺産を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に観光情報の発信などの事業を展開しています。

兼城十字路チャンネル

○沖縄観光コンベンションビューロー等負担金　予算額　150　千円　　決算額　150　千円

事業の成果

　地域の観光資源の開発や活用を町民参加で行うことにより、本町に対する誇りや愛着を増すことができます。まつりやイベントを通して、地域住民におもてなしの心を育み、コミュニティの結びつきが強まります。観光誘客により、本町の知名度が向上するとともに、地域の活性化に貢献できると考えておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント開催等の事業の中止や縮小が相次ぎました。対応策としてYouTube活用することにより町内外に観光情報の発信をすることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,060	22,448		7,858			14,590

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光PR促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへの出演のほか町内外においてPR活動をしていきます。

事業の実施内容

○南風原町イメージキャラクター「はえるん」の活用

予算額　3,915 千円　　決算額　3,889 千円

南風原町のキャラクター「はえるん」を各種イベントやメディアへの出演をはじめ、観光施設や町民交流スポットなど、町内各所におけるPR活動により観光誘客を促進すると共に、「はえるん」関連グッズの活用促進と、PRキャラクターによる地域活性化を図ります。

北丘小学校交通安全教室

ゆうな園クリスマス会

かぼちゃフェア（くがに市場）

電子図書館オープニングセレモニー

事業の成果

各種イベントやマスメディアへの出演など、町内外におけるPR活動により観光誘客を促進しました。地域活性化を図るためには、町民と行政が一体となって観光まちづくりに取り組んでいく必要があります。親しみやすいイメージキャラクターを活用することでPR効果を期待できますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町内外のイベント中止が相次ぎ、例年よりイベント等への出演回数が減少しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,915	3,889		3,112			777

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	黄金森公園スポーツ施設活性化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	保健体育費	06
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・町外・社会体育団体	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により、環境と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図る

事業の実施内容

○黄金森公園陸上競技場の芝生整備を実施することにより、名古屋グランパス春季サッカーキャンプ、日本陸上競技連盟合宿、県外実業団・大学等の陸上合宿を誘致しました。また、新たなスポーツキャンプの誘致に向けてラグビー関係備品等の整備を行いました。

・令和2年度予算及び決算額

消耗品費（ラグビー用消耗品）	（予算額：	88千円	決算額：	83千円 ）
手数料（ラグビーゴール設置）	（予算額：	334千円	決算額：	333千円 ）
委託費（黄金森公園芝生管理）	（予算額:	13，750千円	決算額：	13，750千円 ）
備品購入費（ラグビー用備品）	（予算額：	423千円	決算額：	359千円 ）

【名古屋グランパス春季キャンプの様子】

【1ゴール10球ボール贈呈式】

【中学校での特別授業】

【指導者向け講習会（ｵﾝﾗｲﾝ）】

【小学校での栄養講座（ｵﾝﾗｲﾝ）】

【観光協会YouTube出演】

【商工会×グランパスコラボ商品開発】

事業の成果

黄金森公園陸上競技場の年間を通した芝生整備を実施することで、名古屋グランパスの春季サッカーキャンプや日本陸上競技連盟合宿や実業団・大学陸上部の合宿など1,695人の利用者を誘致することができました。名古屋グランパスキャンプの際には様々な連携事業を実施することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,595	14,525		11,620			2,905

令和２年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

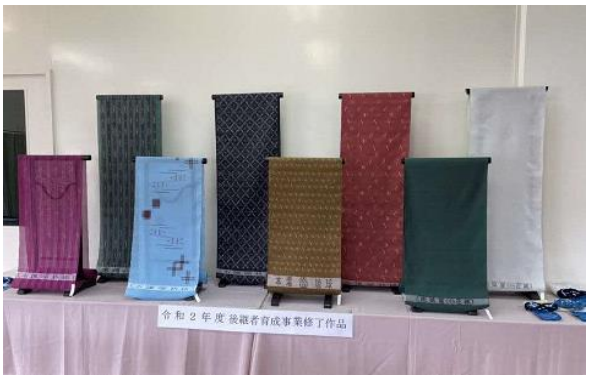
事業名	琉球絣等伝統工芸事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	琉球絣事業協同組合など	南風原町の特産品である琉球絣・南風原花織の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

○琉球絣・南風原花織後継者育成事業補助金 予算額　380千円　決算額　380千円
・琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。
※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。

後継者育成事業閉校式



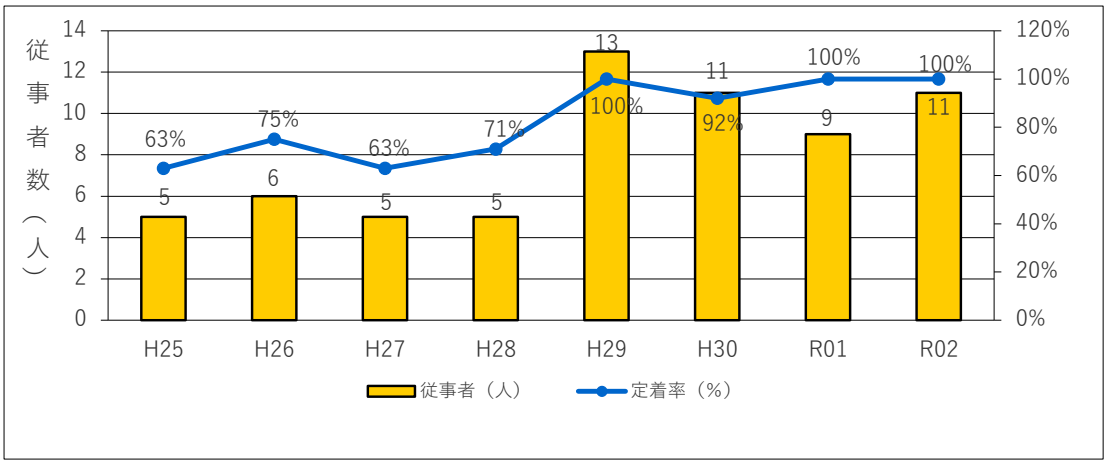
研修生作品

研修内容　：　機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は各工房の元で琉球絣・南風原花織の生産に携わっていきます。

平成29年に南風原花織が国の伝統的工芸品に指定され、振興計画に基づく後継者育成事業を琉球絣と合わせて行っています。

受講者数及び修了後従事者数の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	合計
修了者	7	8	8	7	13	12	9	11	75
従事者	5	6	5	5	13	11	9	11	65
定着率	71%	75%	63%	71%	100%	92%	100%	100%	87%



○琉球絣事業協同組合への補助金　予算額　3,081千円　決算額　3,081千円
・琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。

次ページへつづく →

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合貸付金　　予算額　20,000千円　決算額　20,000千円
・琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っていますが、その補助金等が入ってくるまでの運用資金（生産者への製品である反物代金等）として資金の貸付を行いました。

○その他

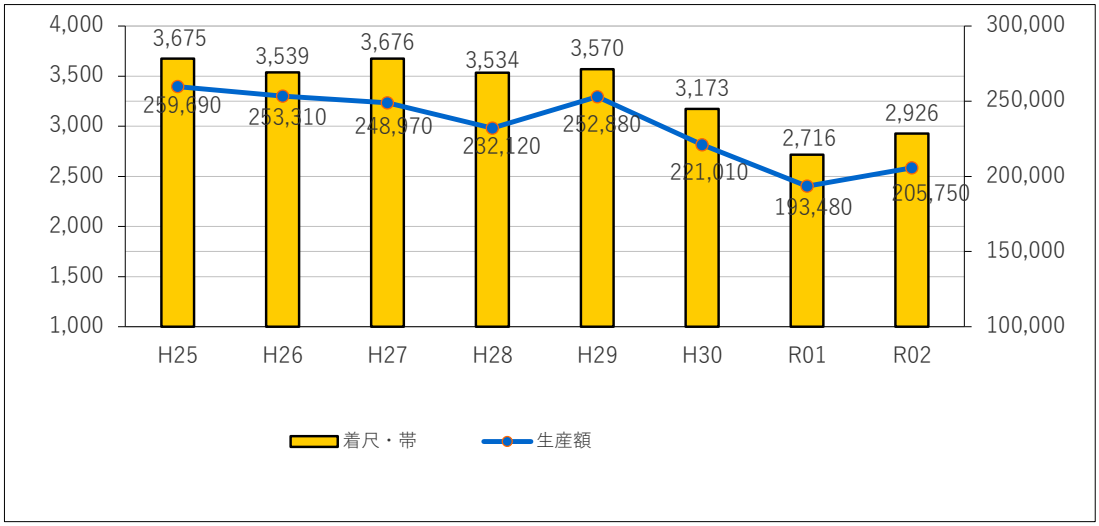
・琉球かすりの女王報酬等	予算額	320千円	決算額	55千円
・かすり会館給排水管修繕工事	予算額	932千円	決算額	924千円
・伝統工芸ふれあい広場事業負担金	予算額	221千円	決算額	221千円
・(財)伝統的工芸品産業振興協会費	予算額	50千円	決算額	50千円

県外での展示会

イベントでのPR活動

琉球絣・南風原花織の生産高及び生産額の推移　　単位：反・本、千円

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
着尺・帯	3,675	3,539	3,676	3,534	3,570	3,173	2,716	2,926
生産額	259,690	253,310	248,970	232,120	252,880	221,010	193,480	205,750
対前年比	―	-2.5%	-1.71%	-6.8%	8.9%	-12.6%	-12.5%	6.3%



事業の成果

後継者育成事業の修了者は引き続き各事業所の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。また、かすりの生産においては受注生産が減少し、以前として生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。

第32代絣の女王においては、各種イベントにて琉球絣のPR活動を行いました。今後も琉球絣、南風原花織の産地として地域の発展と地場産業の育成をおこなって参ります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,984	24,711				2,000	22,711